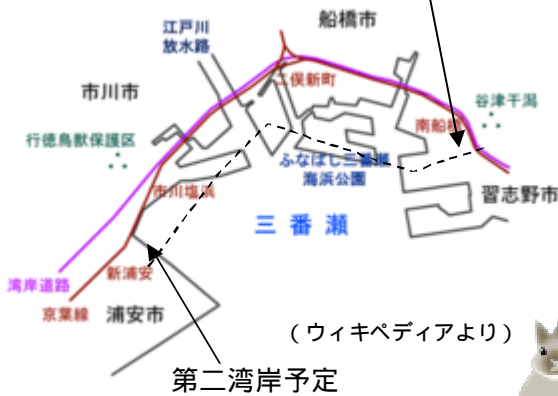


千葉県 6月定例県議会

代表・一般質問が終わり、14日(月)からは、各常任委員会が開かれました。6月は、4日間で8常任委員会ですので、全部傍聴することはできません。千葉県議会の常任委員会は中継・録画もされていないので、直接傍聴する以外その内容は分かりません。

川本さんが委員を務める「県土整備部」(14日)の議案は3議案でした。そのうちの一つ

議案11号
・習志野・船橋市の東京湾岸地域の渋滞緩和のための谷津船橋IC工事の契約締結について



常任委員会の中継のある県は、三重県・鳥取県などほんの一握りです。

県は、交通量全体の10%(5千台)を緩和できると言います。アクアライン800円社会実験の目的の一つに、湾岸地域の渋滞緩和がありますが、現実には2~3%減で渋滞緩和の効果にはなっていません。次から次と渋滞緩和策を出しますが、根拠はあるのかしら。また、川本さんの「将来的に第二湾岸道路計画との関係は？」との質問に道路整備課長は「第二湾岸道路との整合については考慮していない」と言われましたが、第二湾岸を作るのに丁度良い場所にも思えます。

【アクアライン社会実験について】

記事は「アクアライン800円を千葉県負担無しに恒久化を国に求める」と言われています。

川本さんは、調査活動などをもとに (No.48 参考)

社会実験の結果をどのように評価していくのか? 湾岸の渋滞緩和、観光、産業、経済効果、・・・(中略) 影響について伺いたい。

産業・観光・経済効果については、大型車の業種毎・ナンバープレート・観光施設の売り上げ調査を行って行きたい。

追加調査結果を加味した報告書の提出時期は?

ご指摘の点も踏まえ、夏休み明けくらいまでのデータを基に、秋くらいまでに第二回目の中間報告を行いたい。



川本さんの指揮のもとにおこなった調査活動が県の調査を促すことができました。実際に現地を見て、調査をすることがいかに大切なことが、実感しました。